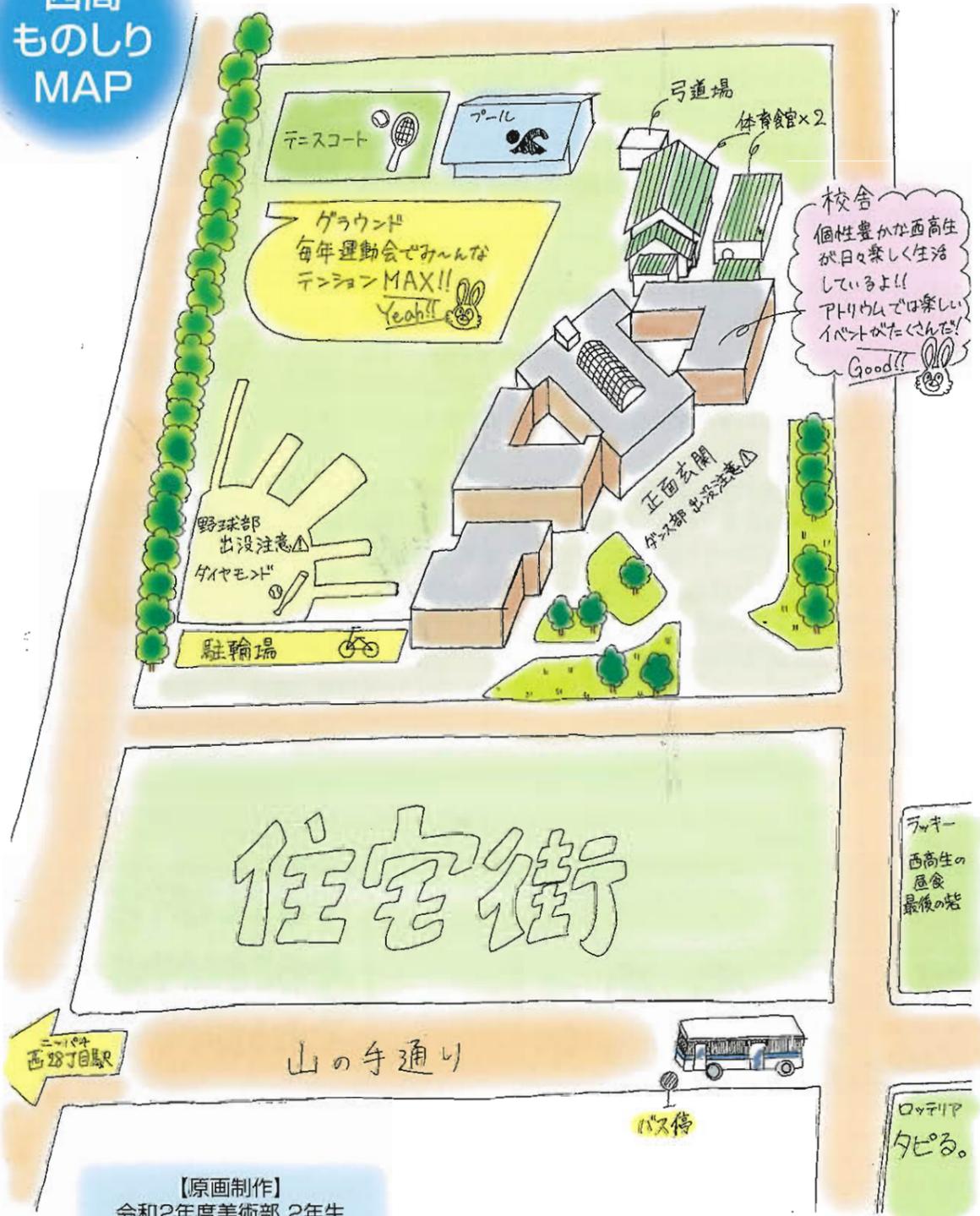


西高
ものしり
MAP



【原画制作】
令和2年度美術部 2年生
2-3/広瀬 もえ 2-4/紺野 恵美
2-5/多留 さつき 2-8/馬場 春菜

北海道札幌西高等学校

〒064-8624 札幌市中央区宮の森4条8丁目1番地 TEL 011(611)4401 FAX 011(611)4403
<http://www.sapporonishi.hokkaido-c.ed.jp> (西高公式ホームページ)

【交通のご案内】
地下鉄東西線「西28丁目」下車 徒歩15分 / ジェイ・アール北海道バス(西21、循環西21、琴40)「西高校前」で下車 徒歩2分

大好き!西高
2021👍

北海道札幌西高等学校

詳しくはこちら→ <http://www.sapporonishi.hokkaido-c.ed.jp>



在校生座談会

魅力

笠原:西高の魅力は第一に行事でしょう。西高祭は準備は大変ですが、振り返ってみると結局楽しかったことが思い出として残ります。どの行事も楽しいものばかりで、そこに魅力を感じると思いますが、西高は生徒や先生方などの「人」にも魅力があります。趣味の合う友人に必ず出会えると思いますし、いい意味で自分とはまるで考えが違う人など、本当に色々な人に巡り会えるのも魅力だと思います。



笠原 悠生さん

熊谷:西高の魅力といえば、運動会がある事だと思います。学年を縦割りにし、チーム分けをするので普段なかなか関わることがない先輩とも写真を撮ったり、話することができます!3年生になるとクラスごとに衣装を揃えたりするなど、とても華やかな行事です。また、クラスの友達と仲良くなる機会でもあると思います。運動会のお弁当スペシャルもとても盛り上がりです!

高田:私はずっと違う高校を目指していましたが、たまたま来た西高の見学会でたくさんの魅力的な行事があることを知り、その日の夜には志望校を西高に変えていました。実際に入学して、行事は想像の何倍も楽しく、信頼できる友人もたくさんできました。

小原:西高にはたくさんの行事がありますが、自分は宿泊研修が一番思い出深いです。トマムで過ごした2泊3日は忘れられません。メインはスキーでした。さすが北海道!って感じですね。インストラクターの方も面白くて笑っぱなしてました。ただ、スキーをするので、宿泊研修中は筋肉痛でした。(笑)クラスの仲が深まる眠れない夜を過ごすのも楽しかったですね。普段の学校生活にはない楽しさがいっぱいでした。新入生のみなさんにも期待してもらって大丈夫なレベルです。

勉強

小原:入学したての頃は中学とは違う、ハイレベルな授業についていくのが精一杯でした。ですが先生方が勉強についてのアドバイスをくれたり、質問に答えてくれたりするので、高校のペースに早く慣れることができました。教科によっては毎週単語テストがありますが、たくさんの単語に触れることができるので苦ではないです。模試などで、自分が勉強した単語が出ると「これはやりましたー」と少し気分が良くなりました。(笑)

高田:特に、数学が苦手で放課後よく先生に質問に行きました。理解するまで、何回でも何時間でも教えてくれます。本当に数学に悩んでいましたが、先生もたくさんサポートしてくださり、以前より数学に対しての苦手意識が無くなりました。また、周りの友人も快く教えてくれるので聞きやすいです。

笠原:西高は勉強をする上でとても良い環境だと私は思います。まず友人の存在です。分からないところを友人に聞いて理解を深め合ったり、絶対にクラスに1人はいる勉学に秀でた人を自分でこっそり目標にして定期テスト



小原 慶太さん
2年7組
(琴似中出身)
生徒会長

熊谷 采音さん
3年6組
(手稲中出身)
女子テニス部
部長

笠原 悠生さん
3年8組
(陵北中出身)
男子バレーボール部
部長

高田 奈々さん
3年5組
(元町中出身)
ダンス同好会
会長

「西高ってどんな学校?もっと知りたい!」そんなキミたちは必見!!
在校生が西高のあれこれ、教えちゃいます!

のモチベーションにしたりと、勉強する上でかなり良い環境に恵まれていると思います。さらには個性豊かな先生方が工夫を凝らしてわかりやすい授業を行なってくださることも西高で勉強を頑張ることができる要因の一つだと思います。

熊谷:西高の学習環境はとて素晴らしいと思います。進路室や社会科教室など、自習を出来る教室があり、自分で勉強していて分からない問題に出会っても、すぐ先生に質問に行けるので、安心して取り組みます。周りの友達の勉強に対する意識も高いので、モチベーションに繋がるし勉強を教え合うことも多いです。周囲に競い合える仲間がいることはいい事だと思います!長期休業中の講習も充実していて、休み中でも勉強する習慣を保つことができます。



熊谷 采音さん

部活動

熊谷:西高は運動部、文化部共に沢山の種類の部活動があります。初心者でも入りやすい部活動がほとんどなので、高校から新しいことを始めたいという人でも沢山の選択肢があると思います。また、全道大会、全国大会に出場している部活動もあります。考査前にはテスト休みもあるので、勉強と両立出来るか不安な人も、安心して部活動を楽しむことが出来ると思います!

笠原:僕は3年間男子バレーボール部に所属して活動していました。中学生のときはサッカー部でしたが、西高に入って何か新しいことにチャレンジしたいと思い、バレーボール部に入ることを決めました。初心者だらけで最初の頃は練習試合でも負け続けていましたが、信頼できる仲間達と勉強も練習も全力で取り組んでいくうちに、公式戦でも勝てるようになりました。練習を毎日見てくださった顧問の先生にはとても感謝しており、良い関係を築くことができたと思っています。話が長くなりましたが、高校生活の大部分の割合を占める部活動では得られるものも大きいです。西高には沢山の部活動があり、どれも個性があって魅力的です。そこは西高の

大きな特徴の一つでもあり、誇れることだと胸を張って言えるでしょう!

小原:自分は生徒会執行部に所属しています。生徒会?部なの?と疑問に感じた人もいるのではないのでしょうか。西高の生徒会は、いわゆる選挙演説というものは会長のみ行います。会長以外は、生徒会やりたい!という気持ちがあれば入ることができます。そんな自分たち生徒会が、西高の大きな魅力の学校行事を運営します。企画の段階から携わるので、当日の楽しさも人一倍感じることができます!!これこそ青春!西春!他にもたくさんの部活動があります。迷うと思いますがやりたいことを見つけてください!



小原 慶太さん

高田:私はダンス同好会に所属していました。同好会ですが2年生と3年生合わせて41人と人数が多く、学年男女問わず仲良く活動しています。また、なかなか経験できない大人気で踊るといこと楽しさも知ることができました。そして、西高には昼休みにアトバというアトリウムでのパフォーマンスも定期的に行われ、そこには本当に多くの生徒が見に来てくれるので、発表の場が充実しているのも西高の魅力だと思います。このダンス同好会での活動が私の西高生活の中で一番大きいです!

西高を目指す人に

高田:勉強のモチベーションが上がらないときは、西高での楽しみや入学してからやりたいことなどを想像するようにしていました。そして、入学して自分はその想像以上に充実した毎日を送ることができています!今勉強が辛くても入学後、西高を選んで良かったと必ず思うはずですよ!応援しています!



高田 奈々さん

笠原:西高は全道でも屈指の進学校でありながら、たくさんの魅力的な側面を持っており、全国的に見ても珍しい高校だと思います。その高校での3年間は充実したかけがえのないものになることは間違いないです。西高の魅力を余すことなく紹介できたのではないかなとは思いますが、やはり自分の肌で感じるのが一番だと思います!ぜひ自分で確かめてみてください!!!

熊谷:西高は入るのが難しいというイメージがあると思います。実際、私も直前の模試まで合格可能性はずっと40%程でした。それでも合格することができたので、最後まで諦めないで頑張りたいと思います。高校に入った後の勉強についていけるかという不安もあると思いますが、入学してから頑張れば何でもなります。西高には想像の何倍も楽しいことがあるので、今は勉強を頑張ってください!応援してます!

小原:受験勉強は決して楽なものではないと思います。ですが、西高に入学すると、たくさんの楽しい行事がみなさんを待っています!西高に入ったら〇〇したい!などポジティブなイメージをもつと、受験勉強も乗り越えられると思います。頑張ってください!

日本のリーディングハイスクールを目指して

～創造性・独創性を育み、グローバル人材を育む教育活動～

本校の創立にあたって初代校長 善波 功 は、北海道の小天地を目標とするのではなく、全国屈指の学校を目指していました。現在、その志を今に引き継ぎ、日本のリーディングハイスクールを目指して時代に合った様々な教育活動に取り組んでいます。

入学生受入の方針
～入学生の姿～
「アドミッション・ポリシー」

「カリキュラム・ポリシー」教育課程の
西高スタンダード
「深く、しっかりとした学び」の推進

編成・実施の方針～学習の在り方～
幅広い教養、将来の研究活動の基礎となる学力の定着を図ります。
また「総合的な探究の時間」との関連を図りながら教科横断的な視点で学習の深淵を極め、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成します。

卒業認定の方針
～卒業生の姿～
「ディプロマ・ポリシー」

本校は、創立百年を超える道内屈指の伝統校です。

校訓「自由 自律 叡智 創造」や西高実行精神「やることはやる やるときはやる やれるだけやる」で表される校風が脈々と受け継がれており、これまで多くの優れた人材を輩出してきました。

本校の教育の大きな特徴は、「深く、しっかりとした学び」の上に、SSH事業で開発した「創造性・独創性を開花させる教育活動」や「グローバルな視野を育成する教育活動」を豊富に取りそろえていることです。みなさんの中で、将来は医学を含む科学技術系人材として、また、グローバルリーダーとして活躍したいと考えている人は、是非とも本校で学んでほしいと思います。

本校では、次のような生徒の入学を求めています。

【育成すべき資質・能力】

- ◆ 学業、人物ともに優れ、将来の夢や希望を実現させようとする強い意志がある生徒
- ◆ 旺盛な知的好奇心を持つ生徒
- ◆ 国際交流や国際理解に強い関心を持ち、次世代を担うグローバル人材に必要な資質・能力を高めたい生徒

「総合的な探究の時間」における探究活動

第1学年探究テーマ例(R1年度)



第1学年 ポスター発表

- ・効率の良い暗記方法とは？
- ・じゃんけんの勝率は上げられるのか？
- ・望んだ仕事に就くために
- ・入浴と成績に相関性はあるのか？
- ・西高で一番集中できる部屋をさがせ！
- ・許されやすい謝り方
- ・一ヶ月で長文読解力はつくのか？
- ・血液型と性格は関係するの？
- ・最強の準備運動(準備運動について)
- ・音楽をかけると掃除が早く終わる？
- ・私たちはグローバル化していない？
- ・好きなお菓子と人間性に関係はあるのか？
- ・色が勉強に与える効果は？ など

第2学年探究テーマ例(R1年度)



第2学年 学年全体発表

- ・様々な腹筋トレーニングとトレーニングの頻度が腹筋に及ぼす効果
- ・札幌市内に必要なコンサート会場を作るには
- ・インフルエンザ予防接種の必要性
- ・鹿肉の特徴と食べやすい料理
- ・売れている漫才に共通する要素
- ・ヒット曲とコード進行の関係
- ・左利きのの方が絵が上手いのか？
- ・昔の納涼から学ぶ現代の夏をエコに乗り切る方法
- ・本当に勉強したい人は勉強できるようになる？
- ・「写真」の住所
- ・ダンスの必修化について など

西高プログレス(ポストSSH) 「創造性・独創性を開花させる教育活動」の推進

●国際社会で活躍している方による講演会の実施

- 進路講演会: 著名な大学教授の講演 (R1: 中央大学「AI原則とロボット法」)



R1 進路講演会

●高大連携「科学技術系人材育成プログラム」

- 札幌西高校地学巡検→留萌管内
- サイエンスキャンプ(生物)→早稲田大学
- 研究室訪問→東京大学、北海道大学等
- 科学に関する特別講義

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業で開発したプログラムなどを活用し、国際社会で通用する、高度な素養を備えた人材の育成に取り組んでいます。

●高大連携「医療系人材育成プログラム」

- 医学セミナー
→ 札幌大&旭医大の講師による講演
- 地域医療体験活動
→ 旭医大と連携した病院実習



北大研究室訪問 (地球惑星科学科)

●理数系コンテスト等への参加

- 科学の甲子園北海道決勝大会出場
- 物理チャレンジ&化学グランプリ
- 青少年のための科学の祭典参加



科学に関する特別講義

卒業までに次のような資質・能力を身に付けることを求めています。

【育成すべき資質・能力】

- ◆ 創造性や独創性にあふれ、高い知性と豊かな情操、強い志を兼ね備えていること
- ◆ 多様化した国際社会で主体的・協働的に生きる資質を身に付けていること



本校では、国や道からの支援や西高の支援団体である「一般財団法人 札幌西高会」、「輔仁会」、「振興会」、「PTA・後援会」等からの支援も受けており、毎年、生徒の学習活動や諸活動(西高プログレスや海外研修等)に取り組みやすい学習環境をつくるよう努めています。西高に入学して、将来日本のみならず世界で活躍する人材となる素養を身に付けましょう。



第35代校長 五十嵐 晋

西高グローバル・エデュケーション 「グローバルな視野を育成する教育活動」 の推進～R.1年度 海外研修参加者40名

海外セミナーの開催や外国人研究者による講演会等を行うとともに、様々な海外研修への参加や海外留学を通じた国際交流を推進するなどグローバル人材の育成に取り組んでいます。



R1 アイルランド研修



R1 シンガポール研修

●海外セミナーの開催実績

- 駐日アイルランド大使による講演会(H29)
- 西高グローバルセミナーの開催(H28～)

●イギリス短期研修の実施(参加生徒10名)

夏休休業中に実施する研修。他校生との合同実施

●アイルランド研修の実施(参加生徒16名)

滞在10日間で、現地高校の授業体験や大学訪問、博物館・美術館等での研修実施

●シンガポール研修の実施(参加生徒12名)

7日間にわたってアジアNo.1の大学NUSキャンパスツアー、日系企業見学、語学研修を実施

●西高生国際交流の派遣実績(主な事業)

- 北海道・アルバータ州高校生交換留学事業
- 高校生世界の架け橋事業(H26～3名)
- 高校生アジアの架け橋事業(H26～6名)
- JENESYS 2018 韓国研修(H30～14名)
- トビタテ留学Japan日本代表プログラム(H27～1名)
- 北海道青少年中国派遣事業(H28～1名)
- Dot STATION Summer Tour 2018 中国(H30～1名)
- 日韓高校生交流キャンプ広島(H30～1名)
- 日本の次世代リーダー養成塾(H29～2名)
- 半年以上の海外留学等(H30～3名/英国・米国・ドイツ)
- 留学生の受入(H30～1名/スイス)

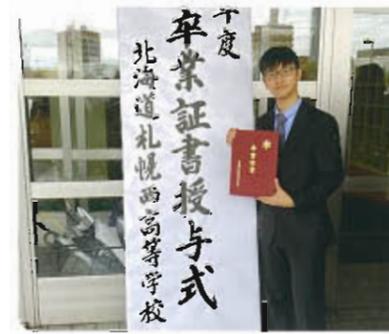
「やれるだけやる」

絶対あきらめない!西高魂
大学合格はハードルの一つ、その先の未来を描こう!

令和2年度入試【大学合格者数】

国公立大学 251名 (うち現役172名)		
北海道大学	64(40)	筑波大学 3(2)
小樽商科大学	31(21)	千葉大学 3(2)
北海道教育大学	21(15)	一橋大学 2(2)
札幌医科大学(医学)	7(5)	東京藝術大学 2(2)
札幌医科大学(保医)	5(4)	横浜国立大学 3(3)
帯広畜産大学	4(4)	浜松医科大学 1(1)
室蘭工業大学	6(3)	名古屋大学 2(2)
旭川医科大学(医学)	3(0)	京都大学 3(2)
旭川医科大学(看護)	3(3)	大阪大学 2(1)
千歳科学技術大学	12(9)	神戸大学 3(1)
札幌市立大学	7(5)	東京都立大学 3(2)
弘前大学	11(9)	国際教養大学 2(2)
東北大学	7(5)	京都府立医科大学 1(0)
山形大学	2(0)	など
(うち国公立大学 医学科 13(6))		

私立大学 389名 (うち現役216名)			
北海学園大学	35(23)	明治大学	21(14)
藤女子大学	20(17)	青山学院大学	8(7)
北星学園大学	20(19)	立教大学	8(7)
北海道科学大学	30(23)	中央大学	34(11)
北海道医療大学	18(6)	法政大学	25(13)
天使大学	6(6)	学習院大学	3(1)
酪農学園大学	7(4)	東洋大学	7(3)
早稲田大学	14(7)	東京農業大学	7(6)
慶應義塾大学	7(1)	日本大学	6(2)
上智大学	6(4)	関西大学	5(2)
東京理科大学	14(3)	関西学院大学	1(0)
国際基督教大学	1(1)	立命館大学	5(0)
など			



一橋大学 経済学部 経済学科 1年生
七戸 純さん(琴似中学校出身)

「素敵西高ライフを!」

大学のキャンパスにまだ通えていない身ではありますが、何歳になっても自分にとっての青春とは何かと聞かれればそれは西高生の頃だったと胸を張って言えます。生徒会や西高祭、修学旅行など思い返せば輝かしい日々の連続でした。抽象的にはなりますが、そんないくつもある西高の好きな点をまとめるならばそれは「挑戦をさせてくれる」点だと思います。自由には義務が必ずついて回るように、やるべきことをおろそかにしてはもちろん得るものも得られません。ですが部活動、行事、勉強、etc...自分が全力で頑張ろうとすることに西高はしっかりと応えてくれます。生徒会で新しいことをしようとしたときや受験でわからないことがあったときに先生方やOBの方、そして友達が助けてくれましたし、自分もできる限り友達を助けてきました。もちろん自分から何かをすることはとても難しいことだと思います。しかし目標をもって最初の一步を踏み出しさえすればそれを叶えるだけのものが西高には揃っています。ですので、皆さんには恐れずに前を向いて素敵西高ライフを送ってほしいと心の底から願っています。



東京都立大学 経済学部 経営学科 1年生
橋本 朱悠さん(宮の丘中学校出身)

「出逢い」

西高ではたくさんの素敵な人に出逢うことができます。皆を楽しませるのが得意な人、一緒にいるだけで心がほっこりする人、なんでもこなしちゃう器用な人、周りをよく見ている優しい人、皆の目を引くような多才な人、たくさんたくさん考える人。皆とても魅力的で、キラキラしています。特に西高の特色であるユニークな行事では、そんな西高生が活気に満ちて、素晴らしいものを創り上げます。もちろん楽で簡単なことではないです。大変できついからこそ、皆全力で取り組み、とことんこだわりぬく時間が今振り返っても印象的です。本当に幸せな時間でした。そんな風に仲間と共に過ごす日常は、何かに気付かせてくれたり、何かを掴ませてくれるきっかけで溢れています。また時には、自分が何かしらのきっかけになっていることもあるかもしれません。西高は間違いなく、一人一人が自分だけの「何か」を手に入れ、また「何か」を誰かに与え成長していける場所です。皆さんにもそんな場所に身を置いて、宝物になり得る時間を過ごして欲しいです。西高生だけが経験できる西春を。



東北大学 工学部 機械知能・航空工学科 1年生
木村 太之輔さん(清田中学校出身)

「やりたいことをやるには?」

やはり西高といえば、私服であったり、行事が多かったりと、自由で楽しいイメージがあると思います。ただ、勉強においても部活動においても、学校生活においても自ら行動できなければ、その自由も持ち腐れてしまいます。西高に入学してきたからは楽しいことだけが待っているわけではありません。いかに、自由を使いこなすかは自分次第です。そして、まだ出会ったことの無いような新しく面白い友人ともたくさん出会うことになります。試験前には全員が勉強してないといえます。騙されてはいけません。もちろんみんなテスト勉強を終えてきています。行事に、部活動に、勉強に、三兔を追う西高生はとても忙しいです。ですが、自分で工夫して時間を生み出しているのです。生み出せるようにならなければならぬのです。色々な個性を持った西高生の中で過ごすことで自分の個性を見つけて欲しいです。僕はまだ大学には通えていませんが、早く新しい仲間にも伝えたい西高での思い出がうんとあります。皆さんも一生忘れることの無い高校生活3年間となるよう濃厚に過ごして欲しいと願っています。

西高の先輩達! さまざまな分野で活躍! (敬称略)



佐藤忠良作「蒼穹」



本郷新作「鶏を抱く女」



山内壮夫作「家族」



本田明二作「けものを背負う男」

坂本 直行(二中8期) (画家・「六花亭」の包装紙のデザイン)	森本 正夫(1期) (経済学者・北海学園理事長)	上出 洋介(12期) (オーロラ研究者・名古屋大学名誉教授)	水口 哲也(34期) (ゲームクリエイター・「セガラリーチャンピオンシップ」他)
本郷 新(二中8期) (彫刻家)	内山 齊(3期) (元読売新聞グループ本社代表取締役社長)	長沼 修(12期) (元北海道放送(株)社長)	
山内 壮夫(二中9期) (彫刻家)	李 恢成(5期) (小説家・芥川賞受賞)	三部安紀子(12期) (声楽家・北海道二期会理事長)	
佐藤 忠良(二中14期) (彫刻家)	蛇川 忠暉(7期) (元トヨタ自動車副社長・元日野自動車会長)	長沼 昭夫(16期) (洋菓子(株)きのとや代表取締役会長)	
伊福部 昭(二中15期) (作曲家・「ゴジラ」の曲を作曲)	長瀬 清(7期) (北海道医師会会長)	中田 昌樹(20期) (指揮者)	
船山 馨(二中15期) (小説家・吉川英治文学賞受賞)	川村 隆(8期) (元日立製作所会長・東京電力HD会長)	石丸修太郎(23期) (元北海道税理士会会長)	
本田 明二(二中21期) (彫刻家)	大和田榮治(9期) (薬学者・元北海道薬科大学学長)	成毛 眞(24期) (元日本マイクロソフト社長)	
高橋揆一郎(二中夜1期) (小説家・芥川賞受賞)	山内 亮史(10期) (教育社会学者・旭川大学学長)	田中 裕子(25期) (女優)	
品田 雄吉(二中32期) (映画評論家・多摩美術大学名誉教授)	横路 孝弘(10期) (元衆議院議長・元北海道知事)	有末 真哉(26期) (大樹生命保険(株)取締役会長)	
笠井 誠一(1期) (画家)	新川 詔夫(11期) (元北海道医療大学学長)	谷村 志穂(31期) (小説家・「海猫」他)	



笠井誠一作
「水差しとかりんとあけびのある静物」



とことん自分と仲間と向き合う。
きっと将来の糧になる。

「やることはやる、やれるだけやる」勉強の極意

[めざす生徒像]

- 1.自由闊達な校風を継承し、自律的精神を身に付けた生徒
- 2.豊かな情操と高い知性を身に付けた生徒
- 3.強靱な体力・気力を養い、活気ある明朗な生徒

教育課程

- 1・2年生で、英語・数学・国語の基礎・基本を確実に身に付けます。
- 3年生で、類型及び多様な選択科目の設定により、各自の進路に応じたより深い学習を行います。

*科目上の目盛りは週あたりの時間数を表します。□点線囲み部分は選択教科なので、興味や進路志望に従って選択します。

1年生	2年生	3年生	文型	理型	
1	現代文 B	1	現代文 B	1	現代文 B
2		2	現代文 B	2	現代文 B
3	国語総合	3	古典 B	3	古典 B
4		4	古典 B	4	古典 B
5		5	日本史 A	5	世界史研究
6	世界史 A	6	地理 A	6	日本史研究
7		7	倫理	7	地理研究
8		8	化学	8	政治経済
9	数学 I	9	現代社会	9	倫理
10		10	国語研究	10	
11	数学 A	11	地学基礎	11	
12		12	物理基礎	12	数 学 III
13	数学 II	13	政治経済	13	
14	化学基礎	14	物理	14	
15	生物基礎	15	生物	15	
16		16	数学 II	16	化 学
17		17	数学 B	17	
18	コミュニケーション英語 I	18	数学 I	18	
19		19	発展数学	19	
20	英語表現 I	20	数学 II	20	
21		21	発展数学	21	
22	英語表現 II	22	コミュニケーション英語 II	22	物 理
23	家庭基礎	23	コミュニケーション英語 III	23	生 物
24		24	コミュニケーション英語 III	24	
25	社会と情報	25	英語表現 II	25	コミュニケーション英語 III
26		26	英語表現 II	26	
27	体 育	27	体 育	27	英語表現 II
28		28	体 育	28	
29	保 健	29	保 健	29	
30		30	保 健	30	
31	音楽 I	31	総合的な探究の時間	31	体 育
32	美術 I	32	総合的な探究の時間	32	体 育
33	書道 I	33	総合的な探究の時間	33	体 育
	LHR		LHR		LHR

学習

[授業]

- 1年間を前期・後期に分け、月・金は6時間、火・水・木は7時間の授業を実施しています。
- 授業では基礎から大学入試で問われる高度な内容まで扱います。先生の話を受動的に聴くだけでなく、ペアワークやグループワークに取り組む場面もありますので、主体的かつ能動的に授業に参加することが求められます。速い進捗についていくためには、授業以外の場面で自ら時間を確保し学習する習慣を身に付けてください。

[学力向上に向けて]

- 基礎・基本を確実に定着させるため、各教科では週末課題、単元テスト等を頻繁に実施しています。これらに対する日々の努力を3年間継続させることは、部活動・学校行事等にも積極的に参加しながらも、将来の夢を実現させる大きな土台となります。
- 朝の自習プリントの配布や、放課後の自習室の開放を行っています。
- 「スタディ・ニュース」を定期的に発行し、定期考査に向けての学習のアドバイス等の情報提供を行っています。

[3年間の学習指導]

- 1年生 入学してまもなく生徒には「シラバス(授業概要)」を配付。高校で学ぶ教科・科目のガイダンスを行います。3年間を見通した学習計画を1年生の段階から立てます。まずは、授業の予習・復習などの基本的な家庭学習の習慣をしっかりと身に付けます。
- 2年生 将来の進路希望に応じた、教科・科目選択授業を行います。毎日の授業を中心に、計画的な学習を進めながら、自分に合った勉強法をしっかりと身に付けます。大切なのは「知的好奇心を高めること」「自分で課題を見つけること」です。
- 3年生 進路希望に応じて文型と理型に分かれます。1・2年の時に身に付いた基礎が花開き、学ぶ喜びを最も味わえる時期です。入試のための実戦的な勉強はもちろん、時には大学レベルに踏み込んで、高度な知識の習得を目指します。

[入学者選抜について]

一般入試 選抜方法【募集人員】320名

- 学力点と学習点を同等に取り扱う選抜 募集人員の70%程度
- 学習点を重視した選抜 学力点:学習点 = 4:6 募集人員の15%程度
- 学力点を重視した選抜 学力点:学習点 = 10:0 募集人員の15%程度

入学者の選抜に当たっては次に示す3つの方法で、合格者を決定します。
※本校は「学校裁量問題」選択校です。

キャリア教育

冬休みには、弁護士事務所・病院・テレビ局・新聞社・銀行などでインターンシップを行っています。また、学問について考え、大学進学に向けてのモチベーションを上げる機会として、東大・京大などの教授を招いての進路講演会や、東大・北大等の研究室訪問も行っています。

探究活動

「総合的な探究の時間」において「探究活動」を行っています。すでに分かっていることを調べる「調べ学習」とは違い、分かっていないことを見つけ、その答えを探し求める「探究活動」とおして新しいことに挑戦する力を伸ばしていきます。



講習

長期休業中の講習のほか、3週間にわたり土曜日に実施される「土曜講習」、平日の放課後と土曜日とで実施される「期間講習」があります。1年生では英・数・国の3教科を中心に、学年進行にともなって理科・地歴公民も実施し、実戦力を養成するための体制を整えています。

模試

全国レベルで自分の実力を確かめます。結果を細かく分析したデータをもとにした、各教科からのアドバイスやHR担任との個人面談により、進路目標を明確にしていきます。

日課表

登校	～ 8:25	昼休み	12:30～13:10
SHR	8:25～ 8:35	5校時	13:10～14:00
1校時	8:40～ 9:30	6校時	14:10～15:00
2校時	9:40～10:30	7校時	15:10～16:00
3校時	10:40～11:30	SHR	16:00～16:10
4校時	11:40～12:30		

●月・金は6時間授業
●HR活動は火の7校時

	1年	2年	3年
4月		課題確認テスト 進路希望調査	進路希望調査 土曜講習
5月	進路希望調査	進路別ガイダンス	
6月	科目選択	文理選択 定期考査	期間講習
7月	模試		夏期講習(I・II・III期×4日間)
8月	課題確認テスト		期間講習 進路希望調査
9月	土曜講習	定期考査 土曜講習	土曜講習
10月	模試 進路希望調査	進路希望調査	実力テスト
11月		期間講習 定期考査	受験校調査 期間講習
12月	土曜講習	土曜講習	期間講習
1月		冬期講習(前期)5日間 冬期講習(後期)5日間 インターンシップ 課題確認テスト 模試	共通テスト
2月		期間講習 定期考査	入試本番! 私立大学 国公立大2次
3月	土曜講習	土曜講習 春期講習4日間	

模試：共通テスト対策模試、記述対策模試、大学別模試、小論文模試など、毎月1～2回のペースで実施しています。



卓球

「道内公立高校最強の卓球部」を合い言葉に練習に励んでいます。ここ数年はコンスタントに個人戦での北海道大会出場が実現し、市内強豪校の一つになりました。チーム力を高め、さらなる飛躍を期します。初心者も大歓迎ですよ!

- '18 高体連札幌支部予選 男子W ベスト16 全道大会出場
- '18 国民体育大会卓球競技 北海道予選会出場
- '19 高体連春季大会男子団体 ベスト8 北海道卓球選手権大会(ジュニアの部)出場(3名) 北海道高等学校選抜卓球大会出場(個人戦シングルス 4名)

バスケットボール

- [男子]
- '19 高校新人札幌地区予選6位 全道大会出場(ベスト16)
 - '19 高体連札幌支部予選5位 全道大会出場(ベスト16)
 - '19 札幌地区春季大会5位
- [女子]
- '19 春季大会予選リーグ1位 決勝トーナメント進出
 - '19 高体連札幌支部予選 ベスト16
 - '19 選手権大会 ベスト12
 - '19 新人戦 予選リーグ2位 決勝トーナメント進出

バレーボール

- [男子]
- '16 高体連決勝トーナメント進出
 - '17 高体連決勝トーナメント進出
 - '18 高体連決勝トーナメント進出
 - '19 高体連予選グループ戦敗退
- [女子]
- '16 高体連決勝トーナメント進出
 - '17 高体連決勝トーナメント進出
 - '18 高体連決勝トーナメント進出
 - '19 高体連決勝トーナメント進出 ベスト16

バドミントン

- [男子]
- '17 春季団体戦西ブロック2部優勝 1部昇格 高体連札幌支部個人戦シングルス3回戦進出・ダブルス ベスト16
 - '18 高体連札幌支部個人戦シングルス ベスト16
 - '19 秋季団体戦西ブロック 3部昇格、決勝トーナメント出場
- [女子]
- '16 高体連札幌支部個人戦シングルス・ダブルス3回戦進出
 - '18 春季団体戦西ブロック 3部昇格
 - '19 春季団体戦西ブロック 2部昇格 秋季個人戦(1年生大会)個人戦シングルス ベスト16(2名)

野球

主体的な活動で野球の「技術・戦術」はもちろん、進路実現に向け様々な力が身につくよう努力しています。

とことん自分と仲間と向き合う。きっと将来の糧になる。

熱中できるものがあるから、西高生活は何倍も楽しい!

クローズアップ 2020



サッカー

- '16 全国高校サッカー選手権大会北海道大会出場
- '18 高円宮杯 U-18 ブロックリーグ 2部昇格
- '19 高校サッカー選手権大会札幌地区予選 Aブロック準優勝

「強豪校にも負けない、誰からも応援されるチーム」を目標に日々練習に励んでいます。本気でサッカーを愛するやる気のある人を歓迎します。一緒に高みを目指しましょう!

山岳

- '12 マレーシアのキナル山(4095m)へ遠征
- '14~'16 全道登山選手権大会参加(男女とも)
- '19 全道登山選手権大会参加(男女とも) 夏合宿
- '16 五頭山(新潟)
- '17 雌阿寒岳・ニセコラフティング
- '18 弥彦山(新潟)

ハンドボール

男子ハンドボール部が2016年総体のインターハイ出場を果たし、それに続くよう男女後輩たちも日々頑張っています。現在の部員は96%素人集団です。「チーム西高」で充実した高校生活を送りましょう。

テニス

- [男子]
- '15 高体連全道大会 団体戦準優勝
 - '16 高体連全道大会個人戦シングルス 3位(全道大会出場)
 - '17 高体連全道大会団体戦 3位 個人戦ダブルス 3位 全道選抜高校テニス大会出場
 - '18 高体連全道大会団体戦 3位 個人戦シングルス 3位 個人戦ダブルス優勝 準優勝(全道大会出場)
 - '19 高体連全道大会個人戦シングルス 3位(全道大会出場)
- [女子]
- '16 高体連全道大会 団体戦準優勝 個人戦シングルス 3位(インターハイ出場) 新人戦全道大会 団体戦 ベスト8 個人戦ダブルス優勝 高体連全道大会 団体戦 ベスト8 個人戦シングルス ベスト8 ダブルス 3位 新人戦全道大会 団体戦ベスト8 個人戦ダブルス ベスト16
 - '18 高体連全道大会 団体戦 ベスト8 個人戦ダブルス ベスト8 新人戦全道大会 団体戦3位(全道選抜出場) 個人戦 ダブルス3位
 - '19 高体連全道大会団体戦、個人戦 ベスト16 新人戦全道大会団体戦、個人戦 ベスト16

陸上競技

- '17 高体連支部大会 男子走高跳 優勝 高体連全道大会 男子走高跳 3位 インターハイ出場
- '18 高体連全道大会 男子400m 準決勝進出
- '19 高体連全道大会 男子3000mSC 7位 男子4x400mリレー 準決勝進出 女子400mH 準決勝進出

ソフトテニス

- '17 高体連全道大会男子団体戦 ベスト16 高体連全道大会新人戦男子団体 第4位
- '18 高体連全道大会男子団体戦 ベスト8
- '19 高体連全道大会男子ダブルス ベスト32

スキー

- '10~'12 インターハイ出場(クロカン・アルペン)
 - '14 全日本スキー選手権大会出場(モーグル)
 - '15 全国高等学校選抜スキー大会出場(アルペン)
 - '15 インターハイ出場(アルペン)
 - '16 全国高等学校選抜スキー大会出場(アルペン)
- 他に基礎スキー等の部員も在籍。兼部も可能です。

剣道

- '18 新人戦全道大会女子団体出場
 - '19 新人戦全道大会男子団体出場
- 技術を上達させることも大事ですが、礼儀や挨拶をしっかりと身につけられることが何より大切だと考え、日々練習に打ち込んでいます。引退した3年生は8人中7人が初心者、1年生も3人中2人が初心者です。高校から始めても大丈夫な部活動です。

弓道

- '16 新人戦南北北海道大会女子個人 準優勝 全国大会出場
- '16 全国選抜大会女子個人 ベスト18
- '17 高体連支部大会男子個人 10位 全道大会出場
- '17 国体地区予選男子個人 3位 全道選考会出場
- '18 高体連全道大会男子個人 ベスト8
- '18 高体連全道大会男子個人 3位
- '19 高体連支部大会男子個人 8位 全道大会出場
- '19 新人戦支部大会女子個人 3位 11位 全道大会出場

水泳

今年度水泳部は3年女子3名、2年女子2名、2年男子5名、1年女子1名、1年男子1名の計12名で活動しています。練習については基本的に各自が通うスイミングスクールで行っています。昨年7月に行われた全道大会においては、女子100mバタフライで1位と2位に、女子200mバタフライでは3位にそして男子400mフリーリレーでは3位に入賞し計4種目6人の選手が熊本で行われるインターハイへの出場権を獲得しました。もし興味があれば是非一緒に活動してみませんか。お待ちしております。

第23回俳句甲子園 全国高等学校俳句選手権大会
文芸部 須藤 野絵さん 清水 小春さん 小野寺 弘泰くん 藤田 尚樹くん 小森 優くん 大久保 温さん



クローズアップ 2020

生徒会執行委員会

西高の伝統である運動会や西高祭などの企画・運営を行っています。本校の校訓「自由・自律・奮闘・創造」を生徒が実践できるよう行事を企画し、準備においてもこの校訓が実践できるように活動しています。

放送局

- 朝昼の校内放送や各種学校行事での放送機器の設置運用の他、NHKコンテストや高文連等の大会にも参加しています。
- '15~'18 NHK放送コンテスト高文連全道大会出場
- '17 NHK放送コンテスト朗読部門全国大会出場 みやぎ総文祭放送(朗読)部門出場
- '19 NHK放送コンテスト全道大会(朗読部門)出場 高文連全道大会(アナウンス部門)出場CM部門準優勝

図書館

図書の出貸・返却業務はもちろんのこと、図書の展示方法の工夫、図書館報「Our Library」の編集・発行、西高祭伝統の古本市開催などを行っています。

- '19 高文連全道高校図書研究大会(札幌)参加

新聞局

『札幌西高新聞』を編集・発行します。北海道で初めて高校生新聞の縮刷版を発行した、歴史と伝統のある新聞局です。生徒の「知る権利」を代行して報道し、学校の歴史と生徒の活動を記録し、学校をよりよくするための問題提起や提案を心がけています。

- '19 全道高等学校新聞研究大会(岩見沢)参加

化学

- '17 高文連全道大会 総合賞3件 日本化学会支部奨励賞
- '18 高文連全道大会 総合賞 優秀ポスター賞 日本化学会北海道支部 奨励賞
- '19 高文連全道大会 総合賞 奨励賞2件 日本化学会北海道支部 奨励賞 日本学生科学賞読売新聞社賞

それぞれが自分の研究テーマを持ち、自分のペースで自由に研究を行っています。化学実験が好きなら誰でも歓迎します。楽しみながら自らを高めていきましょう。

邦楽

琴、三絃、尺八など、和楽器による合奏を楽しむことが活動の中心です。令和元年度も全道大会に出場します。近年は、日本の伝統文化をつづいた国際交流などにも力を入れています。部員の大部分は初心者、楽器も部で用意しますから、誰でも安心して入部できます。

軽音楽

西高祭での演奏や輔仁会館等でライブ活動を行っています。

写真

最近では、デジタル写真中心で活動中です。学校行事や普段の高校生活を撮影し高文連写真展、学生写真道展、写真甲子園などに応募するのが主な活動です。西高祭ではフォトスタジオにも挑戦しました。

合唱

音楽を楽しむをモットーに、自分たちの好きな曲をアカペラにアレンジして歌っています。新入生歓迎会と西高祭、クリスマスコンサートでの発表の他、定期的にアトリウムコンサートを行ったりしています。

書道

高文連石狩支部大会 全道大会と全道学校書道展、北海道学生書道展の三つの書道展に出品する臨習作品の制作を中心に活動。夏休みに100名以上が参加する5校合同定山溪合宿修練会も恒例。

- '19 高文連全道大会 道高文連賞(全国へ)

物理研究

- '17 第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ文2017)出場 日本物理学会Jrセッション(全国大会) 奨励賞
 - '18 第42回全国高等学校総合文化祭(岡山総文祭2018)出場
 - '19 3月 第5回日本物理学会Jrセッション(全国大会)出場
- 研究テーマは巻巻、逃げ水(曇気楼)、超伝導など…北海道大学へ行って測定の協力を頂くこともあれば、科学の祭典で小さな子供たちと遊び心いっぱいの実験を指導することもあります。

演劇

- '15 高文連石狩支部演劇発表大会 最優秀賞 全道高等学校演劇発表大会 奨励賞
- '16 高文連石狩支部演劇発表大会 優秀賞
- '17 高文連石狩支部演劇発表大会 最優秀賞 全道高等学校演劇発表大会 優良賞、創作脚本奨励賞
- '19 高文連石狩支部演劇発表大会 優良賞、創作脚本奨励賞

オーケストラ

- '16 全道高等学校音楽発表大会出場(最優秀賞受賞)
- '17 全国高等学校総合文化祭出場 入学式、卒業式、高文連主催の演奏会、西高祭でのコンサートとレストランの出店、夏季合宿、定期演奏会、昼休みコンサート、校外における演奏活動、ブルームス、チャイコフスキーなどの名作を高校生の若い力で。

華道

いけ花池坊部活動指導員の方から教えていただきます。毎週1回、季節を感じ、心を花に託して表現する楽しさを味わいます。希望者はお免状を取得することもできます。

文芸

「言葉をつむぐ、言葉でつなぐ」私たちは、そんな活動をしています。小説を執筆するのはもちろん、最近では俳句に挑戦し、十七音の世界を楽しむようにもなりました。自分一人で作品の質を高めるのは難しいですが、部内や大会の合評の場で相互にアドバイスするので、表現を客観的に見つめ直すことができ、成長を実感できます。年四回発行する部誌は、印刷や製本を全員で行うこともあり、完成した時は達成感に包まれます。ぜひ、一緒に言葉の世界を堪能しましょう!

- '18 高文連全道大会 俳句部門 優秀賞 第33回全国高等学校文芸コンクール 小説部門 入選
- '19 高文連全道大会 部誌部門 最優秀賞(全国へ) 俳句部門 優秀賞2名、優良賞1名 第22回全国高校俳句選手権大会 参加

美術

- 平面(油彩、水彩、イラスト)、立体(彫刻、工芸制作)等、何でも創っています。
- '15~'16 全国高等学校総合文化祭参加
- '17 高文連全道入選3名 全道優秀賞1名
- '18 高文連全道入選2名 全道優秀賞1名 U21道展入選1名 奨励賞1名
- '19 高文連全道入選1名 U21道展入選6名 優秀賞1名 奨励賞2名

鉄道研究

合宿と野外活動を年に数回行い、道内外の様々な路線に乗り回しています。西校祭では鉄道模型ジオラマを展示しNゲージ車両を走行させます。

- '16 室蘭への日帰り活動
- '17 新十津川への日帰り活動
- '18 小樽への日帰り活動、東京ビッグサイト鉄道模型コンテスト2018参加
- '19 「秘境駅」小樽への日帰り活動

囲碁・将棋

現在の西高囲碁将棋部は全国大会に進出する生徒がいて、活気にあふれています。すこしでも興味をもったら、ぜひ3階第三部室まで足を運んでください。特に女子は3人揃えば全国大会もすぐそこです。先輩部員が懇切丁寧に指導してくれますよ!

- '19 全道囲碁将棋大会(札幌)男子団体戦 優勝 全道大会出場 全道囲碁将棋大会(函館)男子個人戦 準優勝 3年連続全道大会出場

マンガイラスト

主な活動は校内での部誌の配布や展示。冊子などの挿絵の依頼に応じて出品しています。

茶道

講師の先生の指導のもと、お点前のお稽古をしています。西高祭のお茶会には大勢のお客様が来てくださり、長蛇の列ができる人気ぶりです。本格的なお茶室も、一見の価値あり。卒業までには懐千家の初級の許状がいただけます。

Dance同好会

踊りの創作活動を通して、リズムカルに動ける体作りを目指し、表現性・感受性を豊かにし、社会性・協調性を養うことを理念としています。平日は週1回ペース、西高祭前は連日ハードに練習。例年、新入生歓迎会のステージ発表や西高祭オープニングステージ発表・有志発表会に出演しています。

映画研究同好会

映画鑑賞後、その映画についての批評を行うことが活動の中心です。



「やるときはやる」何事にも一生懸命!

生徒会執行部や部活動の先輩が、ユニークな企画で盛り上げます。

入学式

新生を歓迎するのは、オーケストラ部の荘厳なハレルヤ演奏。感動!



April

4



大会に備え、ゴールデンウィークに練習試合や合宿を行う部活動も。

新入生オリエンテーション・歓迎会

炊事遠足



様々なメニューが登場! 先生方のバーベキューも大人気。

定期考査Ⅱ

September

9

前期の最後を締めくくる大会。部活動を引退した3年生も久しぶりに燃えます。

見学旅行(2年)

東京・京都・奈良をめぐる4泊5日の旅。忘れられない思い出になるはず。



October

10

大学入学共通テスト(3年)

いよいよ受験がスタート。西高生は本番に強いと定評があります。

11

November

1

January

卒業式

式が終わる直前にかかる、卒業生の「ちょっと待った!」コールも恒例。優れた生徒には「善波賞」。笑いあり涙ありの卒業式。

3

March



定期考査Ⅳ

February

2

節分



かつては授業中の教室に、突然3年生が乱入して豆やお菓子をまいた、謎の伝統行事。ここ数年はアトリウムで鬼が出没!

高体連大会

May

5



海外研修報告会

September

9

前期の最後を締めくくる大会。部活動を引退した3年生も久しぶりに燃えます。

October

10

大学入学共通テスト(3年)

いよいよ受験がスタート。西高生は本番に強いと定評があります。

11

November

1

January

定期考査Ⅰ

年4回の定期試験。「やるときはやる」の西高実行精神を発揮しよう。

西高祭

7

July

体育大会

ハロウィンには、ダンス部による発表が。

定期考査Ⅲ

December

12



クリスマスには、アトリウムでミニコンサートが催されます。

パワーがみなぎるビッグイベント。楽しむ時は思いっきり楽しむのが西高流。



西高創世記

二中から西高4万人の青春「百年の物語」より

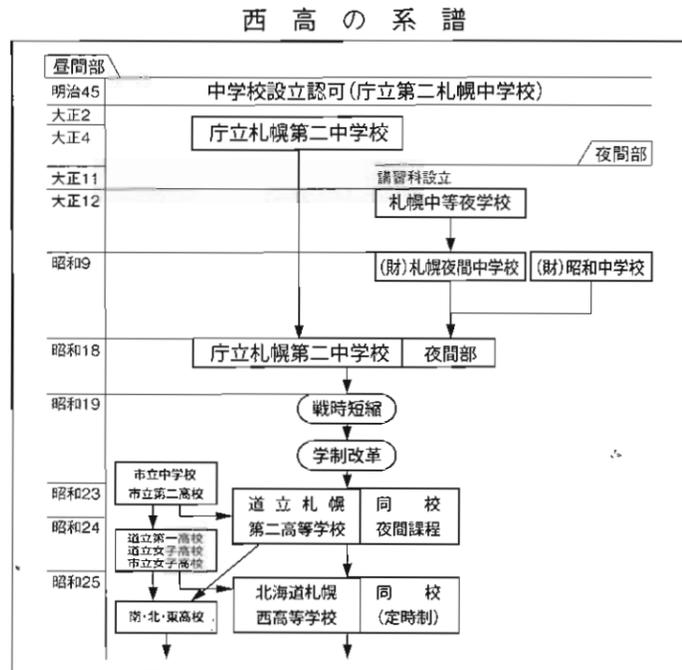
札幌に2つ目の北海道庁立男子校として誕生

当時、札幌には北海道庁立の男子校は札幌中学(旧一中、現札幌南高)だけで、道内に4校しかなかった。札幌の人口が約9万人に膨れあがるとともに、子弟の教育熱も高まり、札幌中学の倍率が約4倍という狭き門となったことから、明治45年(1912年)、道内5番目の庁立男子校として、本校「北海道庁立第二札幌中学校」の開設が認可された。

札幌南高とは兄弟、北高・東高とも家族関係

明治45年(1912年)に、第二札幌中学(本校)と札幌中学(現札幌南高)が、1つの学校のようにまとめられて入学者選抜が行われるとともに、札幌中学の校舎を利用して授業がスタートした。1学年5クラスのうち、甲、丙、戊の3クラスが札幌中学、乙と丁の2クラスが本校にあてがわれた。すなわち、札幌中学21期生と第二札幌中学1期生は、同じ試験で入学し同じ校舎同じ先生の下で学ぶ兄弟関係であった。

また、昭和25年(1950年)に、道立札幌第二高校(本校)と札幌第一高校(現札幌南高)、道立女子高(現札幌北高)、市立女子高(現札幌東高)の四校が、男女共学のため札幌東・西・南・北高に再編された。在校生は各校に強制的に移動させられ、級友と泣く泣く別れた。生徒は、移動しても前の学校が忘れられず、東西南北は家族のような関係と言える。



西高はいつも本道を代表するモダン校舎

初代校舎は、大正2年(1913年)に北3条西18・19丁目に建設された。エメラルドグリーンのペンキに塗られた二階建ての当時としてはモダンで洒落た校舎であった。

二代目校舎は、初代校舎焼失により、昭和37年(1962年)に現在地に移転し建築された。お洒落なレンガづくりの校舎で、本道の公立高校のモデルとなるスチーム暖房・水洗式トイレが導入された。

そして、現在、二代目レンガ校舎の面影を正面に残しつつ、三層吹き抜けのアトリウムがあるW型校舎へと、お洒落な校舎の伝統がまた引き継がれた。



たった三ヶ月でも好きになれるのが西高

初代校舎が、昭和35年(1960年)に出火した。駆けつけた教師・生徒が立ち尽くす中、札幌市の消防車全25台が出動し消火に当たったものの、大半を焼失した。教職員・生徒に悲壮感漂う中、一年の女生徒二人が、焼け跡を呆然として歩いているとき、小さなチョークを見付け拾った。一人が、黒ずんだ廊下の外壁に「西校」と書いた。もう一人の生徒が、ほんの少し前に、学校の横を通った他校生が「西高もなくなったなあ」と言っていたのを思い出し、迷わず「消えず!」と続けた。「たった三ヶ月の西高生でも、こんなに西高が好きなの、という思いをようやく誰かに伝えられたような気がした」と言う。この落書きは、西高生の母校を思う強い気持ちの表れであり、新聞に掲載された。



全国屈指の学校を目指して創立

初代校長善波功は、本校を創立するにあたり、北海道の小天地を目標にするのではなく、全国屈指の学校を目指していた。その結果、本校は北海道における模範校となり、当時、道庁ではどこかの学校を視察したらよいかと問われると、すぐに二中と答えるようになっていた。

善波は、礼節を重んじ生徒に徹底的にたたき込んだ。規律はかなり厳しく、特に服装には厳格であった。遅刻も厳禁である。しかも始業10分前に校門が閉じられた。男女交際など考えられない時代であるため、庁立高等女学校(現札幌北高)の寄宿舎のあった北側は通行禁止となっており、生徒は厳格に従っていた。このように、善波の指導の下、二中生徒は礼儀正しく身だしなみがよかったため、世間から「北海道の学習院」と呼ばれるようになっていた。



校訓

「自由」とは、真理と正義を追求し、人格の完成をめざすための基本前提
 「自律」とは、その自由を支える精神
 「叡智」とは、創造力の基盤となる高い知性
 そして、「創造」とは人類の平和と繁栄を希求し、豊かな文化をつくりあげる力。
 シンプルな4つの単語に深く大きな意味を込めた西高の校訓は、先輩たちから脈々と受け継がれています。



西高実行精神

西高生なら誰もが知っている合い言葉。
 これに「やれなくてもやる」を付け加えて、叱咤激励する先生もいます。



西高を支援する5つの組織

①西高PTA・②西高後援会

PTAは生徒の学校、家庭、社会生活の改善と向上を目的に、保護者と職員により組織。後援会は西高の保護者と賛助会員による組織。いずれも教育活動の充実に寄与しています。

③輔仁会(ほじんかい)

卒業生等在学した者と、名誉会員の教職員で組織する同窓会です。会員のネットワーク構築と、西高の発展に寄与することを目的としています。

④一般財団法人 札幌西高会

西高の卒業生とPTAの役員らが、理事や評議員を務める西高会。育英奨学金をはじめ、海外研修補助や学校花壇整備、皆勤賞記念品など教育活動への支援をしています。

⑤西高振興会(西高サポーターズクラブ)

PTA、西高卒業生の有志による組織。「西高サポーターズカード」を発行し、その手数料を現役西高生の部活動等の助成にあてています。